

S. S. 社会システム学科・2 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を考え始めたきっかけは、2023 年のオーストラリアのシティ、ケアンズへの家族旅行でした。高校生の頃に 4 か月間の語学留学をしていたこともあり、旅行前から漠然と交換留学の願望がありましたが、その旅行で確信に変わりました。旅行から帰国後、母親と話し合いをし、交換留学プログラムに応募することを決意しました。語学留学では、コロナウイルスの入国規制でオーストラリアに行けなかったため、最初の時点からオーストラリアにある 2 大学に絞った上で英語の勉強を始めました。しかし、勉強を始めた時期がかなり遅く、出願寸前まで UNSW 出願に必要なスコア取得ができなかったため、もっと早くから検討すべきだったと考えています。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

出願締め切りの時期が迫っていたため、まず勉強を始める前に、自分が今どのレベルにいるのかどんな勉強が必要なのかを確認するために、一度 IELTS を受験しました。1 回目の受験後は、セクションの得点を元に勉強法を考えました。IELTS 対策用として Cambridge 出版の参考書と IELTS 対策用の単語帳を購入しましたが、ほとんど使うことはありませんでした。IELTS のスコア取得は通過点であると捉えていたため、スコアアップ目的というよりも全体的な英語力底上げに特化した勉強法を行っていました（podcast で listening の練習を行う等）。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

特に書物を用いた勉強は行いませんでしたが、Netflix や TikTok、Instagram のリールなど英語のコンテンツに日常的に触れるようにしていました。

◆ ビザ申請方法

大学で紹介していただいたエージェントの方に日本語のデータを送信し、ビザを申請していただきました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

ホームステイのエージェントの方が手配してくださった車に乗り、送っていただきました。空港から 30 分ぐらいでした。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

授業で友達を作るのは難しいと知っていたため、自分に合うサークル探しをメインで行っていました。また、キャンパスツアーでは積極的に話しかけ友人作りに励みました。

◆ その他必要な諸手続き方法

渡航前に銀行口座を開設し、オリエンテーション週間の間に店舗で最終的な手続きを行いました。加入必須保険の手続きは、留学エージェントを通して留学前に申し込みをしました。

⑤ 語学研修期間

語学研修期間なし

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学は、同志社女子大学に比べて極めて広く term が始まる前にクラスの場所を確認しておく必要があります。またクラスが 2 つ続いてある際は、それぞれの教室を確認した上でクラスを登録しなければ、上のキャンパスと下のキャンパスで移動時間が 20 分程度かかるため間に合わない場合もあります。自習用のスペースがかなり多く、気分に合わせて場所を変えることが可能です。キャンパスの周りは飲食店（特にアジア料理）が充実しています。

◆ 履修科目について

・ Term3 1: MARK2012 marketing fundamentals

マーケティングの 1 番基礎的な授業です。Tutorial はとにかくプレゼンテーションが多く、1 番早いものでは week2 で個人のプレゼンテーションがありました。実際に存在するブランドを通じてケーススタディを行うことが中心で、最終のチームプレゼンテーションでは割り当てられたブランドを、コースコンテンツを用いて分析した発表を行いました。

・ 2: MGMT2010 Innovation and Entrepreneurship

この授業は実際に自分でウェブサイトを作るなど起業に関するもので、履修している学生の中にも、起業をすでにしており経営をしている学生や起業を考えている学生が多く、刺激的でした。実際にクリックボタン付きの landing page を作り、その 2 つのページのアクセス数を実際に比較するなどして、分析をするレポートがメインでした。最後にはグループでブランドを作り、クラスの前でプレゼンを行いました。

・ 3: MGMT2102 management across cultures

文化の違いに関する授業でした。実際に複数の学者により提唱された学説に沿って、国別のスコアを用いて分析するのがメインの内容でした。Lecture の最終 20 分に小レポートを書くという課題が 2 回ありましたが、復習なしでその場で書かなければいけなかったため、苦戦しました。Tutorial は lecture で学んだ内容を使って、ケーススタディを用いてのディ

スカッションがメインで、最終のプレゼンテーションでは割り当てられたケーススタディについてチームで発表しました。

• **Term1 1: COMM1100 business decision-making**

1 年間を通して 1 番苦戦したコースでした。留学前からビジネス系の科目は履修していましたが、この授業では計算やオーストラリアのビジネスに関する法について主に学習するため、日々の予習復習が必須でした。中間テストはオンラインテスト、期末テストはテーマが前日に発表され、翌日時間内にそのテーマの質問に沿った回答を書くレポート形式のテストでした。

• **2: MARK2052 marketing research**

データ分析に関する授業でした。配布されるデータを用いての解説がメインでした。中間そして期末のオンラインテストでは用語や事前に配布されたデータを用いて質問に答える形でした。グループでのレポートも同じで、事前に配布されたデータを、データの分析方法ごとにメンバーで割り当て、そのデータをもとに、会社にどのようなアドバイスを行うことができるかについて述べるレポートでした。成績が足りず、単位取得には至りませんでした。

• **3: MDIA1090 Media, Culture and Everyday life**

メディアについての授業でした。課題は中間レポートと期末レポート、合計で 2 個のみでした。Tutorial はグループでの話し合いが中心でした。

• **Term2 1: HUM1005 personalised English language enhancement**

自身の同女の英語科目の単位認定（科目の読み替え）をしたかったため、履修していました。英語力向上に特化したコースで、英語が苦手な正規の留学生が主に履修していました。タームの中で 4 週間行う勉強計画についてのレポート、そして成長結果についてのレポートに加えて、プレゼンテーションがありました。

• **2: MARK2051: Consumer Behavior**

ビジネス領域における行動心理学についての授業でした。Tutorial は各週ケーススタディを用いたディスカッションがメインで、week4 からは割り当てられたグループが、テーマとして出されたブランドについて、発表を行い、その後全体でディスカッションを行うという形でした。合計で 2 回のチームプレゼンテーション、期末にある個人提出のビジネスレポートが主な課題でした。他の授業と比べて授業参加点が配点として大きく、かなり苦戦しました。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

現地の modsoc というダンスサークルに参加していました。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 正規科目履修期間

ホームステイ 1 人部屋／個室 トイレ・シャワーは共同 食事：朝・夜のみ

①サンズーシ：バスで 1 時間程度（1 時間に 1 本のバス）

②エッジクリフ：電車とバスで 40-50 分程度

⑨長期休暇の過ごし方

1. オーストラリア国内の旅行（メルボルン・ブリスベン・ゴールドコースト）

2. 国外旅行

3. ニュージーランド（サークルの合宿参加）

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

勉強や留学先でのサークル活動が忙しく、特にしていませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

1 番楽しかったのはサークルの活動でした。自分自身楽しめるダンスのサークルに参加していたため会話も弾みやすく、イベントを通して他大学（シドニー大学、UTS、Macquarie 大学）との交流も多かったです。また、所属していたサークルは定期的にダンスバトルを開催しており、そのダンスバトル内の 1 つで TOP8 に残れたこと、合せて学外でのダンスバトルでも TOP8 に残れたことが、特に思い出に残っています。また training team のメンバーとしてチームと大会に出たことも思い出に残っています。練習を重ね、長く一緒に時間を過ごしたため絆が深まったと考えています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

授業での発言、また友達を作ることに苦戦しました。UNSW はかなり中国からの留学生が多く、同じ国籍同士で固まるが多かったです。グループワークで英語以外の言語で話しているときは会話に入ることに苦戦しました。また、日本の大学と異なり、授業内での発言が重要視されます。特に参加点が高いクラスは翌週に向けての対策を行うなどしていました。なお、参加点は授業の内容を確認したり、課題提出などを行ったりできる、moodle（e ラーニングシステム）で確認していました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

思っていたよりもアジア圏の文化（特に食）が取り入れられていて驚きました。また、全体的に閉店の時間が早く、特にカフェは午後 2～3 時には閉まるところが多い印象です。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：留学生が多く、馴染みやすかったです。また、サークルやイベントの数が 1 年を通して多く、学生のサポートも手厚かったです。

悪かった点：キャンパス内が広く、移動が大変でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、変換プラグ、パスタの調理器具（電子レンジで調理ができるもの）。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

全体的に向上しましたが、特にリスニングが伸びたと感じています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学へ行く前に、SNS の明るい情報を鵜呑みにし過ぎないことをお勧めしたいです。もちろん良い思い出も作れますが辛いことも多いため、期待しすぎず、風に任せるといった心構えでいた方が上手くいくと思います。また、英語に関してはリスニングとスピーキングをもっと勉強すべきだったと今でも感じているので、この 2 つを重点的に勉強することをお勧めしたいです。

Ⅳ. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

まだ決まっていますが、現時点ではビジネスを中心により深く学びたいと考えています。

V. 写真

1. ニュージーランドでツアーに参加し、ハイキングをした時の様子です。



2. サークルメンバーの集合写真です。



3. 家からかなり近い散歩道です。

朝早くからウォーキングやランニングをしている人がかなり多いです。



4. 有名なダンス大会 RedBull のオーストラリア決勝を見に行った時の画像です。
大学から電車で 10 分程度の Moore park では、ライブなどのイベントが開催されています。



5. Arc (UNSW Student Life) が主催していた学内でのボランティアです。

